

## 令和4年度(2022年度)第1回長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)5月22日(日)9:30~12:00
場所	長房小学校 プレイルーム
出席者	参加者：宇田、大田原、菅野、坂本、鈴木、塚本、仁科、西山、野副、本堂、松崎、森 シルバー見守り相談室長房：光富 第1層生活支援コーディネーター：今泉 社会福祉協議会：大和 八王子地域 PAL-ETTE：小杉、海津、松村 契約資産部資産管理課：小林(中)、高田、小林(遼)、狩野 学校教育部地域教育推進課：高橋、持田 未来デザイン室：今川、野田、牧瀬
見学者	八王子未来 CAN-VAS：和田
配付資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和4年度(2022年度)第1回長房中学校区地域づくり推進会議資料</li><li>・ 長房中学校区地域カルテ</li><li>・ 長房中学校区地域づくり推進計画</li><li>・ 長房中学校区地域づくり推進計画(概要版)</li><li>・ 長房中学校区公共施設再編の基本的な考え方</li></ul>

### 1 開会

未来デザイン室から挨拶。

### 2 オリエンテーション

本日の検討内容の確認。

### 3 議題

#### (1) 地域カルテ、地域づくり推進計画及び概要版について

##### ア 取りまとめ過程の確認

会議資料をもとに、第8回「長房中学校区地域づくり推進会議(以下「推進会議」という。)」において検討した長房中学校区地域カルテ(以下「カルテ」という。)長房中学校区地域づくり推進計画(以下「計画」という。)長房中学校区地域づくり推進計画(概要版)(以下、「概要版」という。)について、掲載承諾が必要な団体等への確認、掲載内容に関連する関係所管課への確認、他の中学校区の掲載内容を踏まえた最終調整を行ったうえで取りまとめたこと、各成果品の一般公開は、広報はちおうじ(6月15日号)からとなること、長房中学校区に転入してくる方へはカルテを別途配布することを説明した。

##### イ 配布先及び配布場所

会議資料をもとに、配布先はカルテ、計画及び概要版の作成に関わっていただいた方に対し紙媒体で配布すること、配布場所は紙媒体での配布を絞ったため、誰でも地域づくりに興味を持った方が入手しやすい身近な施設で配布すること、配布場所のなかでも、公共施設については、他の中学校区で作成した各成果品すべてを配布することを説明した。ア、イの説明内容における参加者からの質問等はなし。

## ウ 意見交換【テーマ】電子媒体での発信方法

会議資料をもとに、紙媒体での配布を残しつつ、地域に関わる多くの方々に電子媒体で周知するためには、どのような手法があるかについて意見交換を行った。主な内容は、以下のとおり。(詳細は、令和4年度(2022年度)第1回長房中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容のとおり。)

<主な意見交換内容>

- ・ 市の防災メールは、問合せがしづらいものとなっている。地域づくりでは、防災メールのような通知に加え、双方向でのやり取りができるツールがあると、地域づくりへの興味が持ちやすいのではないかと。
- ・ 船田小学校では、今後、マチコミメールからアプリに移行していくため、やり取りの方法が変わってくる。そこで発信ができるのでは。
- ・ 電子媒体の活用は分かるが、実情としては、高齢者の閲覧は期待できない。
  - LINEなら見てもらえる可能性があるのではないかと。(参加者)
  - LINEで閲覧する方法としては、地域づくりの情報が通知として届くイメージか。(未来デザイン室)
  - そうだ。(参加者)
- ・ 学校運営協議会で発信できる方法はあるかと。(未来デザイン室)
  - 学校運営協議会では、マチコミメールを活用している。(参加者)
- ・ 毎月作成される「町会だより」をホームページ上で閲覧することがある。回覧板としても回ってくるが、止めると迷惑になってしまうので、見ないで回しているのが現状。時間がある時に必要な情報を確認している。
- ・ 長房ファームでは、ショートメールでやり取りをしている。メールアドレスやSNSの活用はクリックするだけでも難しい。高齢者からすれば、URLなどをクリックするだけでも抵抗がある。
  - 高齢者が気軽にURLをクリックするためには、どのような方法が効果的かと。(未来デザイン室)
  - 家族からの紹介であれば見てもらえる可能性がある。ただし、通信制限を気にする家庭もあるため、一概に見てもらえるとは言えない。これらを総合的に考えると、紙媒体での発信を除くことは難しい。(参加者)
- ・ 一つの方法としては、案内文と地域カルテの表紙(フルカラー)を添付して全戸配布。詳細を確認したい方は、二次元コードから見られるようにすれば、できる限り予算を抑えて、全戸に配布できるのではないかと。重要なのは電子媒体だけではなく、身近な場所で紙が入手できること。それが地域づくりを知ってもらうことにもつながるのではないかと。
- ・ 先ほどの話でPTAの情報共有方法がマチコミメールからアプリに移行していくとあったが、現状全家庭が登録していないことを課題として認識している。そのため、一つの方法ではなく、LINEの活用など複数の方法で周知することが地域全体への発信につながるのではないかと。
- ・ 若年層やSNSが使える現役世代は、電子媒体で発信しつつ、高齢者や紙が欲しいという方々には紙媒体が必要になる。個人的に大事になる要素は、「見たいと思えるもの」となっているかと。初めが何より重要で、初めが良ければ今後見てもらえるのではないかと。

本項目について様々な御意見をいただいた。事務局において改めて発信方法を検討し、参加者の皆様にも御協力をいただきながら、効果的な手法を用いて取り組んでいきたい。

## (2) 令和4年度(2022年度)における地域づくり推進会議の運用について

### ア 本市が目指す地域づくりとは

会議資料をもとに、本市が目指す地域づくりとは、「共に支えあい、担いあう地域社会の実現」、「地域のすべての力を最大限に活用」、「地域における自立的・主体的な課題への対応」、「全市規模の施策を地域単位への施策へ転換」を実現させていくこと、これらを実現するためには、各中学校区に設置する推進会議の運営体制や方法などを検証する必要があると、川口・長房中学校区は、そのモデルとして令和3年度(2021年度)から取り組んでいること、市役所も地域づくりの実現に向けて変えていく必要があることを説明した。説明内容における参加者からの質問等はなし。

### イ 令和4年度(2022年度)における地域づくり推進会議の目標

会議資料をもとに、令和4年度(2022年度)における推進会議の目標は、「地域で主体的に会議運営できる体制の構築」、「優先的アクションプランの実行」、「地域づくり推進計画の充実」であることを説明した。説明内容における参加者からの質問等はなし。

### ウ 各団体の参加者変更に伴う手続き及び推進会議への関わり方

会議資料をもとに、役員改選等に伴い参加者を変更する場合は、再度団体の代表者から推薦書の提出をお願いしたいこと、参加者が変更となったとしても、引き続き、推進会議に関わっていただきたいことを説明した。

### エ 役員会及び部会の考え方

会議資料をもとに、役員会及び部会の主な役割について図を用いながら説明した。ウ、エの説明内容における参加者からの質問等はなし。

### オ 意見交換

#### 【テーマ】令和4年度(2022年度)の地域づくり参加者について

地域づくり推進会議において地域全体のことを議論するにあたり、どのような方の参加が必要か。また、誰もが地域づくりに参加するためには、どのようなしくみが必要だと思うかについて意見交換を行った結果、現参加者に加え、シニアクラブ、消防団、保護司、旧横山の関係者及び保育園・幼稚園保護者を令和4年(2022年度)の参加者として追加する方向での調整を事務局で行うことで同意した。主な意見交換の内容は、以下のとおり。(詳細は、令和4年度(2022年度)第1回長房中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容のとおり。)

#### <主な意見交換内容>

- ・ 現在の参加者を見ると、子ども関係の参加者は集まっているが、高齢者関係の参加者が少ないのではないかと。先ほど話があったデジタル化を進めていくに当たっては、高齢者関係の方に参加してもらえると実情にあった取組を実施できるのではないかと。

高齢者関係の参加者は、どういった方が望ましいか。(未来デザイン室)

八王子には、シニアクラブ連合会がある。各クラブには、町会・自治会も関わっていることが多いので、声を掛けやすいのではないかと。(参加者)

- ・ 人数を増やすことは、今後の会議運営において問題ないのか。

御指摘のとおり全体会に集まる参加者が現状の2~3倍に増えると、これまでの検討方法は難しくなるため、やり方も変えていく必要がある。ただし、地域全体のことを議論するのが、この推進会議の位置付けでもあるため、本日は、人数に関係なく参加者の

構成について御意見をいただきたい。(未来デザイン室)

- ・ 長房中学校区には、横山のエリアが一部入っており、その地域からの意見が反映できていないと感じる。普段から連携した活動ができていないため、課題として認識している。
- ・ 八王子では、自主防災に力を入れている。今後の議論でも地域防災に関する課題も出てくることが想定されるため、参加者として関係者を追加した方がよいのではないか。

地域防災は、ゆるやかなつながりが地域で構築されていれば、より迅速に活動していけると認識している。どのような方に参加してもらうことが望ましいか。(未来デザイン室)

消防団ではないか。(参加者)

現参加者のなかに消防団に加入されている方はいないか。(未来デザイン室)

消防団には入っているが、エリアが違う。入ってもらうのであれば、長房エリアを担当する方がよい。(参加者)

近年、甚大な被害を及ぼした台風 19 号の際は、南浅川が堤防の高さ付近まで増水していた。市の指示では、川の水が溢れた際には、都営住宅に避難するよう指示があったそうだが、町会・自治会まで話がきておらず、混乱した経験がある。そのようなことも事前に地域で共有しておくことが、地域防災の強化にもつながる。(参加者)

- ・ 他の自治体事例だと、宅配業者の参加が有効であると考え。担当がエリアで分かれば、担当地域の実情を把握しているほか、住民の異常を新聞配達員と比べて発見しやすい。新聞は、1 週間程度溜まると異常と判断されるが、食品は、1 ~ 2 日放置されると異常と判断するため、短期間で発見されることが多い。(第 1 層生活支援コーディネーター)
- ・ 子ども関係で言えば、保育園や幼稚園に子どもを通わせている保護者にも参加してもらうのはどうか。PTAとは違う視点で話をしてもらえないのではないか。
- ・ 保護司の参加はどうか。

令和 3 年(2021 年度)に調整を行い、依頼すれば推薦をいただける状況。保護司を取りまとめる事務局とも相談しながら対応させていただく。(未来デザイン室)

- ・ 先ほど、保育園や幼稚園に子どもを通わせている保護者の参加について話があったが、実情として長房に住んでいない方が多い。地域に住んでいる方として限定した方がよいか。

現参加者のなかに保育園の関係者がいるため、相談しながら対応させていただく。(未来デザイン室)

本項目について様々な御意見をいただいた。各関係団体には一度事務局からお話をさせていただき、次回の推進会議にて調整状況を報告する。

### (3)【ワーク】部会の実施方法について

会議資料をもとに、部会を「地域で主体的に会議運営できる体制の構築」の第一歩として、アクションプランごとに自主的に運営できるように進めていくための具体的な方法について検討した。各グループの検討結果は、以下のとおり。

<地域施設グループ>

- 開催頻度：第 1 回で決定
- どこで：コピオ長房 コピテラス
- 連絡方法：第 1 回で決定(参加者同士で電話番号やメールアドレスは把握している。)
- 資料の共有方法：紙媒体で配布

- 行政に協力してほしいこと：アルプス本部との調整及び会議への参加
- 第1回の部会：令和4年（2022年）6月11日（土）15：30～ コピオ長房 コピテラス

#### < SNSグループ >

- 開催頻度：その都度
- どこで：オンライン、ZOOM、全体会のあと
- 連絡方法：LINEグループ
- 資料の共有方法：LINEのノート
- 行政に協力してほしいこと：検討過程において作成したデータや資料の保存、地域の大学生参加
- 第1回の部会：LINEで随時検討。対面開催は次回の全体会終了後

#### < 地域イベントグループ >

- 開催頻度：第1回で決定
- どこで：長房東アパート集会所またはコピオ長房コミュニティスペース
- 連絡方法：LINEまたはショートメール
- 資料の共有方法：LINEまたは紙媒体
- 行政に協力してほしいこと：会議への参加
- 第1回の部会：令和4年（2022年）6月5日（日）9：30～ 長房東アパート集会所

### （４）公共施設再編の基本的な考え方

資料「長房中学校区公共施設再編の基本的な考え方」をもとに、資産管理課から説明及び意見交換を行った。主な参加者意見は、以下のとおり。

#### < 主な参加者意見 >

- ・ 土砂災害警戒区域が学校の敷地内にあること自体が心配。学校は安全・安心な場所にあるべき。  
建物は土砂災害警戒区域にかからないように配慮する。（資産管理課）
- ・ 安全・安心な施設となるよう進めてもらいたい。
- ・ 校舎は新しく建設すると考えてよいのか。  
整備手法は耐力度調査の結果次第で決定する。（資産管理課）
- ・ 土砂災害警戒区域への具体的な対応は。  
船田小学校・長房中学校の西側は民間所有地もあり、市だけでは解決できない。今後、地域の皆様とも連携しながら検討していきたい。（資産管理課）
- ・ 先日、長房中学校北側の大木の枝が校門付近に落ちた。所有者の問題もあるだろうが、土砂災害警戒区域の問題だけではなく、そのような危険な箇所にも対応してもらいたい。  
本日は、基本的な考え方として説明させていただいた。今後、検討過程において改めて意見交換や説明をさせていただく。

### 閉会

令和4年度（2022年度）における推進会議全体会の日時について、地域全体の行事・イベントと重複していないかの確認とともに、第2回推進会議全体会の日時を伝えた。なお、重複している場合は、令和4年（2022年）5月27日（金）までに事務局へ連絡するように依頼した。

- 第2回：令和4年（2022年）6月25日（土）9：30～12：00 長房小学校プレイルーム（予定）

以上

# 令和4年度(2022年度)第1回長房中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

## 電子媒体での発信方法

- ・市の防災メールでは問い合わせできない。一方通行
- ・まちコミ ホーム&スクール(スマポアプリ)に移行するかも

- ・HPをもっている

登録していない人が多い  
いくつかの方法で  
PTAはLINE  
若い人の電子がよい

- ・高齢者は見ない、LINEは見る
  - ・学運協ではメールを使っている
  - ・船田町会のHPは見る。町会だよりもくる(毎月)  
ログイン不要、会館の使用がわかる
  - ・ショートメール  
クリックするのが大変な人も。こわい、慎重な人も  
詐欺メールが心配。「やっちゃダメだよ」と言われている  
知らないメールがくるだけで警察へ
  - ・スマホも家族内での利用 家族経由
  - ・大きい容量は見られない
  - ・紙媒体は大事でなくさないでほしい
  - ・回覧板は途中でとまってしまう
  - ・地域カルテだと分かるよう同じ色を使いつつ、フルカラーで  
目立つように
  - ・二次元コードをつけてリンクへ
  - ・どこに行けば手にはいるかわかる
  - ・印刷の負担大きい & 紙で
  - ・まちコミやPDFで
- 身近なところ  
スーパーなど
- 早く見つかる

## 令和4年度(2022年度)長房中学校区地域づくり推進会議参加者について

子ども...PTAなど  
高齢者...八老協(シニアクラブ)、老人会(各町会)

人数的な問題(現在17名)  
各町会・自治会長...46地域 全員は難しい  
エリア的に少しはいつている地域  
自主防災の人 地域をこうしたら、防災力が向上するのでは。  
**消防団**...9分団エリア広い  
川の増水 都営住宅へ逃げる(都営の人はそれをきいていない)  
宅配系の民間事業者...リサーチして長房の地域情報をきいてみる  
**食事**、新聞配る

保育園、幼稚園の保護者  
保護司

地域外からも  
園長へ相談する